

私のシヴァ神

Sis. K・C (神戸センター)

オーム シュリ サイラム！

最愛のバガヴァン シュリ サティヤ サイ ババ様の蓮華の御足に、謹んで、愛をこめてお祈りを捧げます。皆様にオーム サイラムとご挨拶申し上げます。

インドに住む霊的志向の家庭に生まれた私は、ヒンドゥー教のすべての神々や女神を信仰して育ちました。しかし、私はいつもシヴァ神の熱烈な信奉者であり、シヴァ神の美しい御姿に魅了されてきました。また、シヴァ神の形のない相である「リングム」というものがありますが、私は「リンガーシタカム」をいつも規則正しいお祈りとして行っております。

神戸センターでは、シヴァラートリの日には、午前中に牛乳でリングムのアビシェーカム(灌頂式)を執り行い、夕方からは 12 時間のアカンダバジャンを歌っていました。私の夫はハーモニウム、甥はタブラ、娘はタンバリンを担当して、家族全員が一晩中起きてバジャンを歌ったものでした。最後の方になると、私たちは自分のアートマが至高の神であるパラマートマに繋がっていることを実感しました。

スワミとの初めてのダルシヤンの時、私はスワミが、私のシヴァ神の化身であるということを実感しました。その時、流れていたバジャンは、「サイ・マハデーヴァ、サティヤ・サイ・マハデーヴァ」でした。

それは 1999 年のマハシヴァラートリで、サイ・クルワント・ホールでのことでした。バジャンの間に尋常ではないことが起こり始めました。スワミはたくさん水を飲んでいらっしまったのですが、その後、スワミの口から神聖なリングムが出てきたのです！ 続いて行われた御講話の中で、スワミはこうおっしゃいました。「このリングムが出現した時にそれを見た者はだれであれ、二度と生まれ変わることはありません。人は、リングムが出現した時にその姿形を見るべきです」そして、私はそこにいませんでしたが、幸運にも、夫はその時その場にいました。私たちは、自宅でその知らせを聞きました。

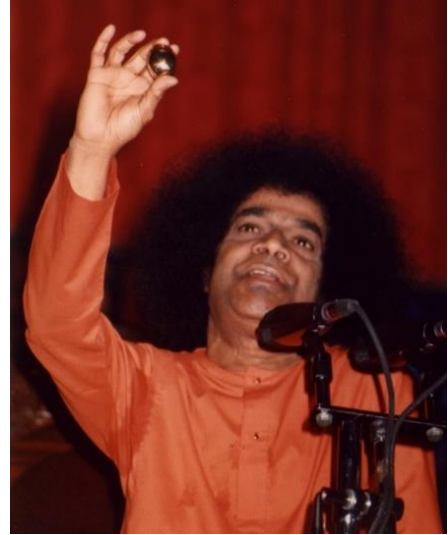


夫がシヴァラートリに参加していたので、私はとても嬉しくて大喜びしました。夫は類まれな幸運により、その場においてベランダの最前列に座っていたのです。スワミがリングムをテーブルの上に落とされ、リングムは夫の目の前の床に転がり落ちてきました。夫はそれを拾ってスワミに渡そうと思いましたが、そう決意する前にアニル・クマール教授が来られ、それを拾ってスワミにお返しになりました。私は一緒に行くことができませんでした。というのは、ゆっくりと体調を崩しつつあった 93 歳の義理の母のお世話ががあったからです。

しかし、2000 年にスワミが再びリングムを顕現なさせた時、スワミは、これは(前年と同じ)“シヴァ・リングム”ではなく、“アートマ・リングム”であり、このリングムは瞬時にモークシャ(解脱)を授けるものではなく、それを見た人が無私の奉仕をたくさん行うことによって、モークシャ(解脱)に到達できるようになるものです、とおっしゃいました。これは、私にとってセヴァを続けていくためのメッセージでした。

1995 年の阪神大震災のとき以来、私たちは仮設住宅やその後はフラワーロードで定期的にナラヤナセヴァを行ってきました。このナラヤナセヴァを行うことが、私にはとても楽しかったのです。

次に、1993年にプラシャーンティ・ニラヤムで行われた御講話の最中に、この写真の黄金のリングムである“ヒランニャガルバ”が物質化された時のことです。ババ様は、このリングムには癒しの効果があるため、どの家庭にもこのリングムの写真があるべきです、とおっしゃいました。私たちは、この写真を手に入れて以来、ずっとそれを持ち歩いてきました。



2009年、スワミのご降誕祭の時期、私はプッタパーティにいました。私は何か左目に異常を感じ始めました。けれどもスワミと一緒にいたので、ただスワミに祈り続け、幸運にもスワミにお手紙を渡している時にパーダナマスカール〔御足への礼拝〕をさせて頂くことができました。

ボンベイに到着した時、眼科のお医者様は、私がこの目の問題を抱えたまま平気であったことにショックを受けていました！私は重度の網膜剥離を起こしていたのです。お医者様はすぐに手術をしてくださいましたが、10日間、(1日の内)20時間もうつ伏せになって寝ていなければなりません。この黄金のヒランニャガルバの写真は、私にそれに耐える力を与え、スワミは私の視力を取り戻してくださいました。おかげで、私はスワミのダルシャン(拝謁すること)、スパルシャン(触れること)、サンバーシャン(会話すること)を得ることができたのです。

翌2010年、ブッダープールニマー祭の時、私はこの奇跡に感謝するためにスワミに会いに行きました。スワミは私にこうおっしゃいました。「心配いりません。私はいつもあなたのハートの中にいます」なんと神聖なスワミからの保証でしょうか！スワミは私の遍在のシヴァ神なのです！

ですから私は、まぶたが常に目を守るように、主なる神が私を守ってくださることをお祈りし、望み、信じています！私は神のご意志に完全に身を委ねております。そして、もし私たちが100%の信仰を持っていれば、神が私たちみんなの面倒を見てくださることを確信しています。

ジェイサイラム